

# 平成 25 年度リンゴ・落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会

平成 25 年度リンゴ・落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 26 年 2 月 3 日(月)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 46 名、委託関係者 16 名ほか、計 75 名の参集を得て、リンゴ関係生育調節剤

6 薬剤(17 点)、落葉果樹関係生育調節剤 12 薬剤(66 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成 25 年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注)アンダーラインは新たに判定された部分を示す

### A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種別 新・旧の 別	試験担当場所 <試験中など (数)>	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AF-1 くん蒸 1-メチルピロピロベン : 3.3%  〔コー・ワット・ハース・ヤバ ン〕	リンゴ (ふじ、 王林、 シナゴ ート)	作用性 新規	青森 りんご研 岩手・中間 (2)	ねらい 3回連続処理での薬効・葉害の確認 設計 密閉容器内くん蒸処理 薬量 収穫1~6日後(3回処理) <水取> 1000ppb(製品68mg/ml) /10a 2000ppb(製品2x68mg/ml) 対) AF-1 密閉容器内くん蒸処理 収穫6日後(1回処理) 1000ppb(製品68mg/ml)	りんご果実を適当な処理ネットを使用し、収穫4,5,6日後に(3日間連続して)毎日24時間ずつ処理する。処理後、室温に保管して効果(硬度、酸度、果皮色など)、葉害(外観異常など)を確認する	実・継 断)	〔リンゴ〕: 収穫果実の貯蔵性向上 ・ふじ: 収穫直後~21日後。(但し収穫11日後以降の処理は、収穫6日後以降、処理まで冷蔵保管したものに限定) ・王林: 収穫直後~10日後。(但し収穫7日後以降の処理は、収穫3日後以降、処理まで冷蔵保管したものに限定) ・その他品種: 収穫直後~6日後
	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	青森 りんご研 長野 果試 自社試験 (山形) (3)	ねらい 収穫14日後(冷蔵の場合は21日後)への 処理時期の拡大 設計 密閉容器内くん蒸処理 薬量 収穫10日後(通常保管*) <水取> 1000ppb(製品68mg/ml) /10a 1000ppb(製品68mg/ml) 収穫14日後(通常保管*) 1000ppb(製品68mg/ml) 収穫14日後(冷蔵保管) 1000ppb(製品68mg/ml) 収穫21日後(冷蔵保管) 1000ppb(製品68mg/ml) 対) AF-1 密閉容器内くん蒸処理 収穫6日後 1000ppb(製品68mg/ml) 対) 無処理区	・収穫直後、各々の処理時、処理4,8週間後に果実硬度、酸度、糖度、食味、果実腐敗等を調査する。参考としてエチレン生成量を測定する。	実・継 断)	・1000ppb ・水に入れて発生する気体に密閉条件で12~24時間暴露 参考) 効果の確認された品種 ふじ、王林、シナゴート、シナゴート 注) ・品種によっては処理時期が遅れると効果の劣る場合がある
2. AH-01 液 アミンピロピロベン : 11.5%  〔*Meiji Seika 工業 北興化学工業〕	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	岩手 秋田 果試 (2)	ねらい 収穫10日後への処理時期の拡大 設計 密閉容器内くん蒸処理 薬量 収穫6日後(3日後まで通常*、以降は冷蔵保管) <水取> 1000ppb(製品68mg/ml) /10a 1000ppb(製品68mg/ml) 収穫10日後(3日後まで通常*、以降は冷蔵保管) 1000ppb(製品68mg/ml) 対) AF-1 収穫後3日まで通常*、以降は冷蔵保管 収穫3日後 1000ppb(製品68mg/ml) 対) 無処理区 収穫後3日まで普通倉庫、以降は冷蔵保管	・収穫直後、各々の処理時、処理2,4,6週間後に果実硬度、酸度、糖度、食味、果実腐敗等を調査する。参考としてエチレン生成量を測定する。	実・継 断)	〔リンゴ〕: 収穫21日後までの効果、葉害の確認(ふじ、王林) ・収穫10日後での効果、葉害の確認(シナゴート、王林)
	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	宮城 果研 秋田 果試 長野 果試 (3)	ねらい ひこばえの刈り取り代行(連年処理) ひこばえ茎葉散布 ひこばえ発生期、春または夏季1回 1000ml、<100L> ひこばえ発生期、春または夏季1回 1000ml、<150L> ひこばえ発生期、春→夏期 1000ml、×2回 <100L> ひこばえ発生期、春→夏期→秋季 1000ml、×3回 <100L>	前年度と同じ供試樹へ連年処理する。ひこばえの枯調効果、樹体への薬害の有無・程度を調査する。処理時のひこばえの平均茎長を記録する。	実・継 断)	〔リンゴ〕: ひこばえの刈り取り代行 ・ひこばえ発生期(至長 30cm以下) ・1000ml、<100~150L>/10a 3回以内 ・ひこばえ茎葉処理 注) 樹幹にかからないように散布する。 継) ・連年処理による樹体への影響の確認

A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等		備 考	判定	判定内容
3. AKD-8086 水和 キノリオン-1:12.5% フェトリオン:25%  【777 ㈱ カシヨウ】	リンゴ (紅い わて)	適用性 新規	自社試験 (岩手)  (1)	ねらい 設計 薬量 <水散> /10a	摘葉効果 立木全面散布あるいは枝別散布 収穫40~50日前 500倍 <十分量> 収穫40~50日前 1000倍 <十分量>	果そう葉及び着梢 葉の落葉率を調査 する。 収穫時に果実品質 を調査する。	実・継 (従来 どお り)	実) [リンゴ(ふじ):摘葉] ・収穫40~50日前 ・500倍 十分量 (展着剤加用可能) ・立木全面散布  [リンゴ(つがる、早生系ふじ、シナ ビッコ):摘葉] ・収穫30日前 ・1000~1500倍 十分量 (1500倍は展着剤加用可能) ・立木全面散布  参考)効果の確認された早生系 ふじ:島林、やたか、紅将 軍  【リンゴ(シノガモ-姉'):摘葉] ・収穫40~50日前 ・500~1000倍 十分量 ・立木全面散布  継) ・気象条件、樹勢等による効果の 確認(ふじ、つがる) ・果実品質への影響について(ふ じ、つがる) ・後期落果への影響について(つ がる) ・2000倍での効果、葉害の確認 (早生系ふじ) ・効果、葉害の確認(紅いわて)
4. AKD-8152 水溶 1-ナフチン酢酸ナリウム :4.4%  【777 ㈱ カシヨウ】	リンゴ	適用性 継続	北海道中央 (つがる)  (1)	ねらい 設計 薬量 <水散> /10a	収穫前落果防止 立木全面散布 収穫開始予定日の14日前/1回 2000倍 <300L> 収穫開始予定日の7日前/1回 2000倍 <300L> 好) 3ホウ-6液剤 立木全面散布 収穫開始予定日の25日~7日前 /1回 1500倍 <300L>	落果防止効果およ び果実品質に及ぼ す影響を確認する。	実 (従来 どお り)	実) [リンゴ:収穫前落果防止] ・収穫開始予定日の21~7日前 ・1000~2000倍 1回散布 <300~600L/10a> ・立木全面散布  ・収穫開始予定日の21~14日前、 及びその7~10日後 ・1000~2000倍 2回散布 <300~600L/10a> ・立木全面散布  参考)効果が確認された品種: きおう、つがる、玉林、 紅玉、陽光

## B. 平成24年度 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・植 新・維 の別	試験担当場所 <>は試験中など (枚)	ねらい	試験設計等	備考	判定	判定内容	
1. AF-1 くん蒸 1-アザノアロパベン : 3.3%  [ホーム・アクト・ハースジャパン]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	青森りんご研 岩手	ねらい (2)	収穫21日後への処理時期の拡大 密閉容器内くん蒸処理 収穫14日後(室温)※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫21日後(室温)※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫14日後(6日後まで室温、以降は冷蔵) ※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫21日後(6日後まで室温、以降は冷蔵) ※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 無処理 収穫後は室温保管 無処理 収穫後6日まで室温、以降は冷蔵保管	※現行登録である 収穫6日後まで室温 保管し、その後は室 温または冷蔵保管 した果実を供試す る。 ・収穫用コフテに入れ た果実を所定のフット に入れ、本剤を処理 し、その後室温で保 管する。 ・処理直後、各々の 処理時、最終処理2、 4、6、8週間後に果実 硬度、酸度、糖度、 果実腐敗等を測定す る。参考としてチリン 生成量を測定する。	-	H25年度分参照	
					ねらい (1)	収穫10日後への処理時期の拡大 密閉容器内くん蒸処理 収穫6日後(室温) ※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫10日後(室温) ※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫6日後(3日後まで室温、以降は冷蔵) ※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫10日後(3日後まで室温、以降は冷蔵) ※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 無処理 収穫後は室温保管 無処理 収穫3日まで室温、以降は冷蔵 保管			※収穫3日後まで室 温保管し、その後は 室温または冷蔵保 管した果実を供試 する。 ・収穫用コフテに入れ た果実を所定のフット に入れ、本剤を処理 し、その後室温で保 管する。 ・収穫直後、各々の 処理時、最終処理2、 4、6、8週間後に果実 硬度、酸度、糖度、果 実腐敗等を測定す る。参考としてチリン 生成量を測定する。
					ねらい (1)	収穫10日後への処理時期の拡大 密閉容器内くん蒸処理 収穫6日後(室温)※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫10日後(室温)※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫6日後(3日後まで室温、以降は冷蔵) ※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 収穫10日後(3日後まで室温、以降は冷蔵) ※ 1000ppb(製品68mg/m <sup>3</sup> ) 無処理 収穫後は室温保管 無処理 収穫3日まで室温、以降は冷蔵 保管			※収穫3日後まで室 温保管し、その後は 室温または冷蔵保 管した果実を供試 する。 ・収穫用コフテに入れ た果実を所定のフット に入れ、本剤を処理 し、その後室温で保 管する。 ・収穫直後、各々の 処理時、最終処理2、 4、6、8週間後に果実 硬度、酸度、糖度、果 実腐敗等を測定す る。参考としてチリン 生成量を測定する。
2. AH-01 液 アザノアロパベン : 11.5%  [Meiji Seika 777 北興化学工業]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	長野農試	ねらい (1)	ひこばえの刈り取り代替効果 ひこばえ葉茎散布 ひこばえ発生期、春または夏季1回 1000ml <100L> ひこばえ発生期、春または夏季1回 1000ml <150L> ひこばえ発生期、春季→夏期 1000ml × 2回 <100L> ひこばえ発生期、春季→夏期→秋季 1000ml × 3回 <100L>	・区1樹、3反復で行 う。 ・ひこばえ葉長30cm 以下で散布する。結 果枝および樹幹に もできるだけ飛散 しないように注意 して散布する。前年 度と同じ供試樹へ の連年処理を行う。 ・ひこばえの枯凋効 果、樹体への葉害の 有無・程度を調査す る。 ・処理時のひこばえ の平均葉長の記録 を行う。	-	H25年度分参照	

平成25年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注)フグ-ラインは新たに判定された部分を示す

A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類・ 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい	試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AF-1 くん蒸 1-チロキプロロベン 【委託者】 [ロム・アント・ハース シヤ パン]	キウイフル ブ(ハイワ ー)	適用性 新規	愛媛 果樹研 <中間> 福岡<中間>	ねらい	収穫後くん蒸処理による果実の 貯蔵性向上効果の確認	・処理直後および処 理30, 60, 90日後に 果実硬度、軟化率等 を測定する。 成績検討会の日程 に合わせて中間成 績の作成。	実・継	実) [キウイフル(ハイワ-)]：収穫果実 の貯蔵性向上) ・収穫直後～7日後 ・1000ppb ・水に入れて発生する気体に密封 条件で24時間暴露
		設計 薬量 <水取L> /10a	(2)	密閉容器内くん蒸処理 収穫2日後 1000ppb(製品68mg/m) 収穫7日後 1000ppb(製品68mg/m)				
	キウイフル ブ(レインボ ーレット)	適用性 新規	静岡 果樹研 福岡	ねらい	収穫後くん蒸処理による果実の 貯蔵性向上効果の確認	・処理直後および処 理30, 60, 90日後に 果実硬度、軟化率等 を測定する。	実	実) [キウイフル(ハイワ-)]：収穫果実 の貯蔵性向上) ・効果、葉害の確認 (さぬきゴ-ルド、レインボ-レット)
設計 薬量 <水取L> /10a	(2)	密閉容器内くん蒸処理 収穫直後 1000ppb(製品68mg/m) 収穫2日後 1000ppb(製品68mg/m)						
AFxRD-0014 くん蒸 1-チロキプロロベン ： 0.14% [ロム・アント・ハース シヤ パン]	バナナ(代 ヤパンデ イッシュ)	適用性 新規	東京農大	ねらい	マシで追熟したバナナ果実の日持ち性向上	・施用後、定期的に2 週間後まで果実の 着色度、ソコ-スボ-ッ の発生度合および 果実の硬度、糖度を 調査する。	実	実) [バナナ：マシで追熟したバナ ナの日持ち性向上) ・果実の着色度3～3.5 ・300～1000ppb ・水に入れて発生する気体に密封 条件で12～24時間暴露 参考) 効果の確認された品種： キヤパンデ イッシュ、ワシロ
		設計 薬量 <水取L> /10a	(1)	密閉容器内くん蒸処理 果実の着色度3～3.5 300ppb(製品20mg/m) 1000ppb(製品68mg/m) 対) 無処理区 通常の出荷箱				
2. AP-4 くん蒸 1-チロキプロロベン ： 0.014% [ロム・アント・ハース シヤ パン]	柿 (幸水)	適用性 新規	埼玉 園研 千葉 東京農大	ねらい	出荷箱内でのくん蒸処理による 果実の日持ち性向上の確認	常温条件下で保管 し、定期的に果室に 重量、果皮色、硬度、 PH、糖度、食味など を調査する。	継	継) ・効果、葉害の確認
		設計 薬量 <水取L> /10a	(3)	通常出荷箱内くん蒸処理 収穫直後 1000ppb相当/箱 <薬剤パ-ックを加湿> 2000ppb相当/箱 <薬剤パ-ックを加湿> 1000ppb相当/箱 2000ppb相当/箱 MAマ-イ 出荷箱内くん蒸処理 収穫直後 500ppb相当/箱 1000ppb相当/箱 対) 無処理区 通常およびMA出荷箱				
3. AKD-8152 水溶 1-チロキプロロベン ： 4.4% [ア-ロ・ホウシヤ]	日本ナ シ	適用性 新規	埼玉 園研 (王秋) 鳥取 園試 (おさこ-レット)	ねらい	収穫前落果防止(薬量拡大)	1回目の散布は収穫 開始予定日の21～ 14日前、2回目は1回 目散布の7～10日後 に散布する。 果実品質に及ぼす 影響を確認する	実・継 (従来 どお り)	実) [ナシ：収穫前落果防止] (従来 どお り) ・収穫開始予定日の21～7日前 ・1000～4000倍 ・<200～300L/10a> 1回散布 ・立木全面散布  ・収穫開始予定日の21～14日前 及びその7～10日後 ・2000～4000倍 <200～ 300L/10a> 2回散布 ・立木全面散布  注) 秀玉は落葉することがある  継) ・葉害について ・1000倍2回散布での効果・葉害 の確認
		設計 薬量 <水取L> /10a	(2)	立木全面あるいは枝別散布 収穫21～14日前-1回目散布の7～10日後 1000倍-1000倍(2回散布) <十分量> 比) マ-マ-マ-立木全面あるいは枝別散布 収穫開始予定日の14日前 6000倍(1回散布) <十分量>				
[ロム・アント・ハース シヤ パン]	柿 (西条)	適用性 継続	鳥取 河原 島根	ねらい	出荷箱内でのくん蒸処理による 果実の日持ち性向上の確認	定期的に果実に重 量、果皮色、硬度、糖 度、食味などを調査 する。	継	継) ・効果、葉害の確認
		設計 薬量 <水取L> /10a	(2)	出荷箱内くん蒸処理 収穫直後 500ppb相当/箱内 1000ppb相当/箱内				
[ア-ロ・ホウシヤ]	日本ナ シ	適用性 新規	鳥取 園試 (おさこ-レット)	ねらい	新梢伸長抑制	新梢伸長抑制程度 を調査する。 腋花芽発生効果お よび熟期促進効果 を調査する。 収穫時の果実重、糖 度、果径、硬度、果皮 色を調査する。	継	継) ・効果、葉害の確認
		設計 薬量 <水取L> /10a	(1)	立木全面散布あるいは枝別散布 新梢発生時(1回) 1000倍 <十分量> 新梢発生時(2回) 1000倍 <十分量>				

## A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (>は試験中など (抜)	ねらい	試験設計 等	備 考	判定	判定内容
3. AKD-8152 水溶 つづき	西洋ナ シ	適用性 継続	山形県試 (ア・ブラス) 新沼 園研 (おがた) (2)	ねらい	収穫前落果防止(薬量拡大) 設計 薬量 <水量> /10a	1回目の散布は収穫 開始予定日の21~ 14日前、2回目は1回 目散布の7~10日後 に散布する。 果実品質に及ぼす 影響を確認する。	実・継 (従来 どお り)	実)[西洋ナ(おがた): 収穫前落果 防止] ・ 収穫開始予定日の21~7日前 2000倍 <200~300L/10a> 1回散布 立木全面散布 ・ 収穫開始予定日の21~14日前 及びその7~10日後 2000倍 <200~300L/10a> 2回散布 立木全面散布 継) ・ 1000倍2回散布での効果・葉害 の確認
	ナ	適用性 新規	自社試験 (奈良(万根早生)) (1)	ねらい	摘果効果 設計 薬量 <水量> /10a	立木全面散布あるいは枝別散布 満開10日後 6000倍 <十分量> 満開10日後 8000倍 <十分量> 満開15~20日後 6000倍 <十分量> 満開15~20日後 8000倍 <十分量>	・ 残存果の果実品質 に及ぼす影響を確認 する。	継)
4. CX-10 液 シブミド:10%  [日本カーベイト工業]	ナ	適用性 新規	自社試験 (3)	ねらい	休眠打破による発芽促進効果 及び葉害の確認 設計 薬量 <水量> /10a	散布時期、濃度による 効果の差、発芽時 期・展葉時期・発芽 数(発芽率)・最大発 芽率までの到達期 間、着果開始時期、着 果率・収穫時期を調査 する。	一	<試験中>
	ブルーベ リー	適用性 新規	自社試験 (3)	ねらい	休眠打破による発芽促進効果 及び葉害の確認 設計 薬量 <水量> /10a	散布時期、濃度による 効果の差、発芽時 期・展葉時期・発芽 数(発芽率)・最大発 芽率までの到達期 間、着果開始時期、着 果率・収穫時期を調査 する。	一	<試験中>
5. KT-30S 液 ホクホクフェニコロン:0.1%  [協和発酵バイオ]	ナ	適用性 新規	独立研(太秋) 岐阜 (太七・自社(富市)) 福岡 (太七・自社(富市)) (5)	ねらい	へたすき軽減 設計 薬量 <水量> /10a	播種後にホドプレー で散布する。 授粉、早期摘果を行 い大果生産を心が ける。 へたすきの発生程 度、果実品質、へた の大きさを調査す る。	継)	継) ・ 効果、葉害の確認
6. KT-30S 液 ホクホクフェニコロン:0.1%  [千葉県農林総合研 究センター]	日本ナ	適用性 新規 (自主)	千葉(千葉K3号) (千葉市・市川市) (2)	ねらい	みつ症軽減(千葉K3号) 設計 薬量 <水量> /10a	処理は人工授粉後 に行う。 収穫時にみつ症の 発生程度(みつ指 紋別の発生率率)、果 重、地色、硬度、糖 度、pH及び果形指 紋(縦径/横径)を調査	継)	継) ・ 効果、葉害の確認
7. NB-27 液 ヒコトサド:44.0%  [日本曹達]	ブドウ (シャイン マスカット)	適用性 継続	茨城 園研 山梨果試 三重 伊賀 島根 岡山 (5)	ねらい	副梢を含む新梢伸長抑制 設計 薬量 <水量> /10a	短梢栽培で試験を 行う。 果実品質を確認す る。	実	実)[ブドウ(シャインマスカット): 新梢伸長抑制] ・ 満開10~40日後 ・ 500倍<150L/10a> ・ 立木全面散布
	ブドウ (ナカノ ハーフ ル)	適用性 継続	長野 果試 (1)	ねらい	副梢を含む新梢伸長抑制 設計 薬量 <水量> /10a	短梢栽培で試験を 行う。 果実品質を確認す る。	継)	継) ・ 効果、葉害の確認

A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 ・種 の別	試験担当場所 (試験中など の枚)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
7. NB-27 液 つづき 【協和発酵㈱付】	ブドウ (ビオー ネ)	適用性 継続	栃木 岡山	ねらい (2) 設計 薬量 <水液> /10a 副情を含む新梢伸長抑制 立ち木全面又は枝別散布 満開10日後 500倍 <150L> 満開20日後 500倍 <150L>	短梢栽培で試験を 行う。 果実品質を確認す る。	実・継 実	(実) [ブドウ(ビオーネ): 新梢伸長抑制] ・満開45日～40日後 ・500倍<150L/10a> ・立ち木全面散布  (継) ・満開10日処理での効果、葉害の 確認
	ブドウ 欧州系 2倍体 品種 (オレンク スター)	適用性 新規	自社試験 (山梨)	ねらい (1) 設計 薬量 <水液> /10a 花房伸長促進 花房散布 展葉3～5枚時 3.0ppm <十分量> 対) 無処理	展葉3～5枚時の処理 新梢長、処理時の展 葉枚数、花穂長、果 実品質を調査する。 無核栽培時のジベレ リン処理は慣行。 パトスプレーによる散 布。	継	(継) ・効果、葉害の確認
	ブドウ 欧州系 2倍体 品種 (サント ルチェ)	適用性 新規	自社試験 (山梨)	ねらい (1) 設計 薬量 <水液> /10a 花房伸長促進 花房散布 展葉3～5枚時 1.0ppm <十分量> 5.0ppm <十分量> 対) 無処理	展葉3～5枚時の処理 新梢長、処理時の展 葉枚数、花穂長、果 実品質を調査する。 無核栽培時のジベレ リン処理は慣行。 パトスプレーによる散 布。	継	(継) ・効果、葉害の確認
	ブドウ 2倍体 欧州系 品種 (シャイン マスカット)	適用性 新規	独 果樹研 長野 果試 自社試験 (石川・山梨・三 重)	ねらい (5) 設計 薬量 <水液> /10a 花房伸長促進 花房散布 展葉3～5枚時 1.0ppm <十分量> 3.0ppm <十分量> 5.0ppm <十分量> 対) 無処理	展葉3～5枚時の処理 新梢長、処理時の展 葉枚数、花穂長、果 実品質を調査する。 無核栽培時のジベレ リン処理は慣行。 パトスプレーによる散 布。	継	(継) ・効果、葉害の確認
	ブドウ 欧州系 2倍体 品種 (瀬川 シャイン マスカット)	適用性 新規	自社試験 (山梨)	ねらい (1) 設計 薬量 <水液> /10a 花房伸長促進 花房散布 展葉3～5枚時 1.0ppm <十分量> 3.0ppm <十分量> 5.0ppm <十分量> 対) 無処理	展葉3～5枚時の処理 新梢長、処理時の展 葉枚数、花穂長、果 実品質を調査する。 無核栽培時のジベレ リン処理は慣行。 パトスプレーによる散 布。	継	(継) ・効果、葉害の確認
	ブドウ 3倍体 品種 (BK シュート レス)	適用性 継続	九州大学	ねらい (1) 設計 薬量 <水液> /10a 着粒安定、果粒肥大促進 花房浸漬 満開3日後 100ppm 果房浸漬 満開6日後 100ppm 対) 無処理	房長、軸長、着粒密 度、着粒数、房重、一 粒重、糖度、酸度、着 色を調査する。	実・継 実	(実) [ブドウ(ハートレス、BKシュート レス):着粒増加安定、果粒肥大 促進] ・満開3～6日後 ・100ppm ・花(果)房浸漬  (継) ・効果、葉害の年次変動の確認
9. ジベレリン 塗布 ジベレリン:2.7% 【協和発酵㈱付】	日本ナシ (苗木)	適用性 継続	自社試験 (埼玉(南水)・ 神奈川(幸水)・ 長野(幸水)・ 鳥取(新甘泉))	ねらい (4) 設計 薬量 <水液> /10a 新梢伸長促進 新梢部塗布 萌芽直前～新梢伸長期 100mg/新梢×1回 対) 無処理	苗木への処理。 新梢長、副梢長を測 定。 複数回処理の場合、 処理間隔は約2～月 程度を目安	実・継 実	(実) [日本ナシ(苗木): 新梢伸長促進] ・萌芽直前～新梢伸長期 ・100mg/新梢 2回以内 ・新梢部塗布  (継) ・4回処理での効果、葉害の確認 ・1回処理での年次変動の確認
	ナシ (苗木)	適用性 継続	自社試験 (広島(なつっこ))	ねらい (1) 設計 薬量 <水液> /10a 新梢伸長促進 新梢部塗布 萌芽直前～新梢伸長期 100mg/新梢×1回 100mg/新梢×2回 対) 無処理	苗木への処理。 新梢長、副梢長を測 定。 複数回処理の場合、 処理間隔は約2～月 程度を目安	実・継 実	(実) [ナシ(苗木):新梢伸長促進] ・萌芽直前～新梢伸長期 ・100mg/新梢 2回以内 ・新梢部塗布  (継) ・1回処理での年次変動の確認
	ナシ (苗木)	適用性 継続	群馬(太陽) 神奈川(太陽) 福岡(太陽)	ねらい (3) 設計 薬量 <水液> /10a 新梢伸長促進 新梢部塗布 萌芽直前～新梢伸長期 100mg/新梢×1回 100mg/新梢×2回 対) 無処理	苗木への処理。 新梢長、副梢長を測 定。 複数回処理の場合、 処理間隔は約2～月 程度を目安	実・継 実	(実) [ナシ(苗木):新梢伸長促進] ・萌芽直前～新梢伸長期 ・100mg/新梢 2回以内 ・新梢部塗布  (継) ・1回処理での年次変動の確認
	ナシ (苗木)	適用性 継続	自社試験 (群馬(白加賀)・ 神奈川(白加賀)・ 福岡(白加賀))	ねらい (3) 設計 薬量 <水液> /10a 新梢伸長促進 新梢部塗布 萌芽直前～新梢伸長期 100mg/新梢×1回 100mg/新梢×2回 対) 無処理	苗木への処理。 新梢長、副梢長を測 定。 複数回処理の場合、 処理間隔は約2～月 程度を目安	継	(継) ・効果、葉害の確認

B. 平成24年度 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・ 規 の 別	試験担当場所 (※)に試験中など (数)	ねらい	試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. AF-1 くん蒸 1-1#6#7#9#10#11 :3.3%  [オム・7ント・ハース シア ペン]	キウイフル フ(ハイウ ド)	適用性 継続	愛媛 果樹研 箱館	ねらい (2)	収穫後くん蒸処理 密閉容器内くん蒸処理 収穫後2日以内 1000ppb(製品68mg/n) 収穫後7日以内 1000ppb(製品68mg/n)	・収穫用の竹または出 荷用箱に入れた果実 をバレット(容積3.5 ml)に入れ、本剤238mg に100ml程度の水を加 え有効成分の発生を 促す。 ・直ちにバレットを密 閉し24時間密閉状態 を保持する。 ・処理終了後に開封し、 4~5℃にて保存する。 ・処理直後および処理 30, 60, 90日後に果実 硬度、軟化率等を測定 する。 ・11月上旬、11月下旬 の収穫果実を試験に 用いる。	—	H25年度分参照
	キウイフル フ(レインボ レット)	適用性 新規	静岡 果樹研	ねらい (1)	収穫後くん蒸処理 密閉容器内くん蒸処理 収穫後2日以内(9月中旬収穫果実) 1000ppb(製品68mg/n) 収穫後2日以内(10月中旬収穫果実) 1000ppb(製品68mg/n)	・収穫用の竹または出 荷用箱に入れた果実 をバレット(容積3.5 ml)に入れ、本剤238mg に100ml程度の水を加 え有効成分の発生を 促す。 ・直ちにバレットを密 閉し24時間密閉状態 を保持する。 ・処理終了後に開封し、 4~5℃にて保存する。 ・処理直後および処理 30, 60, 90日後に果実 硬度、軟化率等を測定 する。 ・9月中旬、10月中旬に 収穫した果実を試験 に用いる。	—	
2. AF-3 くん蒸 1-1#7#9#10#11 :0.63%  [オム・7ント・ハース シア ペン]	バナナ (キャベン ディッシュ ・カワ)	適用性 新規	自社試験	ねらい (1)	エリンで追熟したバナナ果実の日持ち性向上 密閉容器内くん蒸処理 果実の着色度3~3.5 300ppb (製品1錠で11ml) 果実の着色度3~3.5 1000ppb (製品1錠で3.5ml)	・70℃で追熟したバナナを エリンで所定の処理を して、着色度3~3.5の 果実を準備。 ・果実を処理用の室に 入れ、1-MCPを所定の 濃度で12~24時間くん 蒸処理をする。 ・施用後に処理区、無 処理区それぞれ房を 20℃で保存。 ・施用後、定期的に2週 間後まで果皮の着色 度、シブ・腐れの発生 度および果実の硬 度、糖度を調査する。	継	継) ・効果、被害の確認
3. CX-10 液 シフト10%  [高知県農業技術セン ター果樹試験場]	ブルーベ リー	作用性 新規 (自主)	高知県試 (ミドリ)	ねらい (1)	休眠打破による発芽促進 樹全体に十分量を散布 休眠期(11月中旬散布) 10倍希釈液 休眠期(11月中旬散布) 20倍希釈液 休眠期(11月中旬散布) 30倍希釈液 休眠期(12月中旬散布) 20倍希釈液 無散布	ホト等による根域 制限後培、無加温栽 培(12月中旬被覆)	—	H25年度分参照